

学校評価全体を通して

◇全体を通して（学校運営協議会委員より）

<図書>

○図書について、丸山公民館図書室の小学生は他の図書室と比べ少ないそうです。これは学校で図書を借りていることが主な理由だと思いますが公民館の図書室でも協力できることがあればお知らせください。

○スマートフォンを使いすぎると、短絡的な発想になりがちです。それが読書離れにもつながっているかと思います。読書は、客観的な視点を育てることができるので、学校で本を読む習慣づけをしてほしいです。

<地域連携>

○「地域連携」の地域行事については、公民館で行われる「法典地区文化祭」、「子どものつどい」への合唱部の参加等いただきありがとうございます。公民館を活用とした子供たちの育成を検討していきますので、ご協力の程、お願いします。

○学校と地域がコミュニケーションをさらにとれるとよいかと思います。例えば、子供たちが地域のお年寄りと交流するなどそのような機会が増えていければと思います。

○地域の方と互いに知り合えるために、地域を巻き込んだあいさつ運動を行うのもよいかと思います。

<わんぱく活動>

○スマートフォンを使いすぎると、バーチャルな世界でのつながりが多くなり人の顔を合わせて話すことが少なくなり、実生活でのコミュニケーションが上手くとれなくなったり、言葉遣いが悪くなったりすることがあります。丸山小のわんぱく活動は、異学年交流が図れ、1年生と6年生が顔を合わせて互いに知り合うことができ、子供たちの育成に非常によい効果があると思います。

<その他>

○子供たちがよく育っていると思います。子供たちの様子を見ても、生き生きして楽しそうです。

○アンケートの結果が概ねよいということは、よい教育活動が行われている証しかと思います。

○子供たちと先生がよいコミュニケーションをとれていることがよく分かります。

○ボールの使用禁止など規制が多いため公園で遊ぶ子供が少なくなっています。放課後、校庭の開放など子供たちが安心して遊べる環境を地域共に整えていくことも大切だと思います。

◇今後の取り組みについて

○学力向上に関しては、学力向上校内委員会が中心となり、子供たちの学力向上に向け、指導内容の充実、指導方法の工夫を進めていくとともに、校内全体で組織的に個別最適な学びの実現に力を注いでいきます。特に、子供たちに普段から学習全体の見通しを持たせるとともに正しい自己分析の仕方を身につけさせることで、課題に向かう意欲を高めていきます。

○道徳の学習と本校の特色であるわんぱく活動を連携させ、子供たちの豊かな心の育成に努めていきます。

○週1回読書タイムを設定など低学年から本に親しむ機会を増やし、子供たちの読書の習慣を身につけられるよう取り組んでいきます。

○いじめの早期発見・未然防止・再発防止に関しては、生徒指導部会の機能を強化するとともに、全教職員で共通理解、共通行動で取り組むよう努めます。また、保護者の方との情報共有、経過報告等についても連携を深めていくよう努めます。

○子供たちに対し、SNSなどのトラブルやスマホ依存症といった実例を示しながら、スマートフォンの使い方や情報リテラシーなど継続して指導していくとともに、家庭への啓発を積極的に取り組んでいく。

○安全教育について、学校全体で定期的に指導を行うと共に、家庭や地域の方も巻き込んだ安全教育に取り組むことで、学校、家庭、地域で子供たちの安全を守る体制を構築できるよう積極的に働きかけていきます。

○学校運営協議会や父母と教師の会などの協力を得ながら、地域教育力の活用や家庭教育力の向上に取り組んでいきます。また、積極的に地域に学校の教育活動を発信し協働することで、地域とのつながりを深めていけるよう努めていきます。

◇今年度の学校評価を終えて

保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様には、様々なご協力やご意見をいただきました。皆様のあたたかい見守りや励ましは、子供たちの学びの充実の原動力となりました。感謝申し上げます。変化の激しい社会の中で生きる力を子供たちに育んでいくためには、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様のお力がますます必要となってまいります。ご家庭・地域の皆様との連携の上、子供たちの教育にあたっていきたいと思っておりますので、これからも学校教育活動へのご理解ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。多くの貴重なご意見を次年度からの学校運営に活かしてまいります。ありがとうございました。